

2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
1	はしご自動車購入基金造成事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市消防本部 いちき串木野市昭和通 133 番地 1		
交付金事業の概要	令和 3 年度に購入するはしご自動車のための基金造成		
総事業費（千円）	63,150	交付金充当額（千円）	63,150
交付金事業の成果及び評価	<p>国家石油備蓄基地が立地されている本市は、消防本部を核に 1 消防署、1 分遣所、消防団本部、12 分団の消防防災体制を整えており、消防施設等の整備については、消防施設整備事業に基づき実施し、住民の災害等に対する不安を払拭して安心安全なまちづくりを目指している。</p> <p>本市現有のはしご自動車は、導入後、既に 29 年が経過しており、これまでに 2 回のオーバーホールを実施し、さらに年次保守点検整備を行うなど安全性に十分留意し運用しているものの、経年的な劣化は否めず、今後のオーバーホールについても、交換部品の供給対応年数等の懸案事項から実施ができなくなり、ますます安全管理上支障を来す状況となる。</p> <p>今回更新しようとするはしご自動車は、ローキャブダブルキャブ型低床 10 トン級後輪 2 軸消防車専用シャシの 30m 級先端屈折式で、放水銃付のバスケット装置をはしご先端に固定装備し、車両走行時は、バスケットをはしご先端部に収納できる構造の他、垂直・水平制御機能等の操作機能や、車両の全周囲を確認できる全方位モニタ等を装備するなど、安全管理にも十分配慮した最新型の車両である。これらにより、中高層建物などの火災や救助の高所災害事案での対応力の向上や、危険物施設のタンク火災等にも有効な消火手段として効果が望まれる。また、本市は、国家石油備蓄基地との有機的な災害対応を確立しており、必要不可欠な消防車両である。このことから、更新後は現場活動が効率的となり、また運用時の安全性が確実なものとなって、本市における防災体制がより確立され、住民の安心安全に資するものと思われる。</p> <p>以上のような目的ではしご自動車の購入申請を行いたいが、多額の経費が掛かるため、昨年度から引き続き基金を積んだものである。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	はしご自動車購入基金造成事業	大口定期預金	鹿児島県信用漁業協同組合連合会
			契約金額（千円） 63,150
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
はしご自動車購入には多額の費用がかかることから、基金として積み立てることは今後も必要と考える			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
令和 3 年度			